



駒林小 学校便り

令和2年度
12月号
11月30日発行

師走を迎え

校長 西尾 武泰

街路樹を揺らす風の冷たさに、本格的な冬の訪れを感じるころとなりました。本校では寒さや新型コロナにも負けず、休み時間には校庭で元気に遊ぶ子どもたちの様子が見られます。子どもたちの元気な姿が微笑ましく、ほっとする瞬間で、こちらも元気をもらっています。

先月は本校の校庭で運動会が行われました。感染拡大防止を第一に考え、プログラムを見直して時間を短縮した中での運動会でしたが、そのような中でも子どもたちの頑張る姿がたくさん見られました。徒競走や全員参加の学年リレーで真剣に走る姿。はじける笑顔が見られた学年演技。そして他学年を応援する姿。そのような子どもたちを応援する保護者の方々の温かな眼差しと拍手。感動する場面が多くとても素敵な時間でした。そして、何よりも大きな行事を無事に終えることが出来たことが本当に良かったです。たくさんのご協力をありがとうございました。

さて、本校は「駒林」の「林」という名前と関係があるかは定かではありませんが、街中にある学校としては校地の四方を木々に囲まれた比較的緑が多い学校です。これらの木々は子どもたちにとって季節を感じさせてくれますし、夏には木陰を作ることで熱中症を防いでくれたり、時には図工の風景画を描く題材となったり、昆虫がくるのを子どもたちが観察したりと学校の子どもたちにとってとても大切な役目をもっています。ただ、桜などの広葉樹が多いので、この時期は落ち葉が多く、近隣の方々にはご迷惑をおかけして大変申し訳なく思っています。職員も連日落ち葉を拾っているのですが、量が多いのでなかなか追いつかない状況でもあります。そのような時、一緒に掃除をしてくださっていた近隣の方に私がお詫びを申し上げたところ「子どもにとって緑が多い環境はとてもいいことですし、大切なことですよ。これからもよい環境で過ごさせてあげてください。」と私の方が励まされたことがありました。このような優しい心に、とても感動しましたし、そのことを職員室で伝えると職員も心が温かくなりました。本校がたくさんの方々に支えられていることを再認識し、さらに頑張らなくてはいけないと気持ちが引き締まる思いもしました。

学校だよりの先月号でもお伝えしましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大に備えるために、Web会議の体験会を教室と各家庭をつないで行いました。まずは教室で端末を使う練習をして操作方法を学び、そして放課後に教室と家庭を結んでweb会議を体験したのですが、画面の中で担任とのじゃんけんゲームなどがとても楽しそうでした。画面に出てくる子どもたちが皆笑顔でしたので、その様子を近くで見ていた私まで笑顔になりました。実際にWeb会議を行ったことで、学校としても成果がわかりましたし新たな課題も発見することが出来ました。いろいろとご協力をいただきありがとうございました。今後は授業支援クラウドのシステムを構築していきます。校内には新たなLANケーブルが設置され、徐々にハード面も整備されてきていますし、それを扱うための職員の研修も始まりました。まさしく「師走」の様相ですが、新型コロナに負けずに頑張りますので、これからもご支援と協力をよろしくお願いします。